

平成21年 新年明けましておめでとうございます。

安全で安心して
暮らせるまちづくり。

下田市議会議長 増田 清

新年明けましておめでとうございます。
新年を迎え、市議会を代表して謹んで心からお祝いを申し上げます。
我々、市議会は市政の発展と市民福祉の向上のため、鋭意努力を重ねているところであります。
近年、本市の厳しい財政状況のもと、議会といたしましても改革を進め、さらに近隣の町との合併の必要性についても検討し、河津町・南伊豆町・松崎町との間において合併協議会が立ち上がり、協議を行っておりますが昨年12月議会にて、合併統合に関連し電算システム調査費の予算について河津町議会は可決をいたしました。松崎町議会と南伊豆町議会においては、可決に至りませんでした。下田市議会としては、可決された町がある以上合併への望みを消さないということで可決となりました。今後の松崎町議会と南伊豆町議会の動向に注目してまいりたいと思います。

下田市の経済は近年厳しい状況が続いており、さらに昨年のアメリカの金融恐慌が日本へも影響し、今年も一段と厳しい年になるのではと危惧されております。

私ども市議会といたしましては、下田内が抱えております諸問題を市民の皆様とともに解決しながら、安全で安心して暮らせることのできるまちづくりのための施策に高一層努力を怠りません所存であります。

今後とも市議会に対しまして、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして幸多い年でありますよう、心からお祈り申し上げます。まして新年のご挨拶とさせていただきます。

市民総参加で
元気あるまちづくりを。

下田市長 石井 直樹

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、健やかに新年を迎えられたこと、お慶び申し上げます。
さて、昨年一年を振り返って見ますと、世界経済が金融危機に見舞われる中、国地方とも大変厳しい財政事情にありました。観光を基幹産業とする下田市にあっては経済状況は極めて厳しく、消費低迷による景気の影響を避けられない状況にあります。

このような状況の中、1市3町の合併につきましては、昨年12月、合併関連の経費を1市3町の議会に提案させていただきましたが、本市と河津町を除いては、関連経費を削除しての可決となりました。

市民の皆様への合併に対する期待が高まっている中、非常に残念な結果となりましたが、本合併は南伊豆地域の発展と住民福祉の向上につながるものと確信しておりますので、今までも同様、協議を進めていきたいと考えております。

また、共立養病院につきましては、昨年11月に「共立養病院改革推進」に関する答申をいただきました。住民が健康で安心して生活ができるまちづくりのためには、地域医療の中核病院としての本病院の充実が極めて重要でありますので、この答申を尊重し、建設候補地として示された県立下田南高校跡地の確保をはじめとした必要な施策を実施し、病院建設に全力を挙げて取り組んでまいります。

本年におきましても、さらに行政の効率的、効率的運用により財政健全化に向けて努力しながら、まちの将来像「自然とともに生き、歴史に学び、人にやさしいまち」の実現に向け、「市民総参加で元気あるまちづくり」を推進してまいりますので市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたりまして、皆様にとりまして、新しい年が幸多い年でありますよう新念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



私の選んだ今年の一文字
「心」

「誠心誠意」真心を込めて相手に接する。市のリーダーとして心ある政治に取り組む。

(石井直樹)



私の選んだ今年の一文字
「和」

調和、平和、融和。
相手の立場を理解し、物事に取り組む。

(増田 清)